

2013年
クイーン倶楽部だより 01月号
第121号

ERIN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL http://www.eco-rice.jp/
E-mail eco-net@nekonet.ne.jp

長岡機能性食品創造研究会

プロジェクト88

新潟発の新しい『食』の開発を
泉田新潟県知事に報告しました!



新潟医療福祉大学の学生が、耕作放棄地に植えたさつまいもを使い、レシピも考案した「おいち〜たると」。さっぱりとした甘さで、大学は美味しい!!!でも一番人気でした。



先日行われた「フード・アクション・ニッポンアワード2012」で優秀賞を受賞した『大豆を使わないおみそ調味料』と、10月に開催した「大学は美味しい!!!in新潟」の開催報告を泉田新潟県知事へ報告してきました。

当日は、「大学は美味しい!!!」で大盛況だった、新潟薬科大学の食用菊を使った「かきのもとと香るシフォンケーキ」と新潟医療福祉大学のさつまいもを使った「おいち〜たると」を持参。試食をしつつPRをしました。

「おみそ調味料」は輸入大豆からの置き換えや食物アレルギー、「シフォンケーキ」は農産物の機能の可能性、「おいち〜たると」は耕作放棄地問題の解決など、それぞれ新しい『食』の可能性をアピールすることができました。

国内産米と塩、麹のみで作った、大豆アレルギーでも安心の「大豆を使わないおみそ調味料」



かきのもと(食用菊)の機能性に着目した「かきのもとと香るシフォンケーキ」



ドクター 中村の

健康徒然記

その23

愛情もほごほご



中村 信也(なかむらのぶや)
医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療の医療薬膳研究の第一人者」として活躍中。

ベランダで鉢植え植物を育てていてガーデン仕立てにして楽しんでいますが、最近、鉢植えの一大育成条件を悟るに至りました。それは「愛情と水やり」です。

鉢植え植物の管理は、ヒトと似通ったものがあります。愛情を注ぐことが育成の基本みたいです。元気であるか観察し、葉っぱをなでながら語りかければ冬でも花を咲かせてくれます。秩父の別荘では購入当初周辺の樹に花や実がなるのは皆無でしたが、汲み取り便所の肥やしをかけながら話しかけています。いまやほとんどの樹は花を咲かせてくれます。紅葉も朱に染まるようになっています。

「水やり」で最近、先日面白い経験をしました。薩摩芋が芽を出し蔓が伸びてきましたので、皿に置きテーブルに置いて芋畑にしています。盆栽風で根はガラス皿にむき出しで、三日に一回ぐらい水を注いでいます。たまに煮干しを砕いて入れたら元気が付いたりして結構元気で育っていました。

そんなある夜、レモン割子チューハイを飲み干したので、空き缶に水を足し、少しなら元気になるだろうと少量皿に与えました。翌朝、見てびっくり。葉も蔓もぐたぐたと萎びて倒れているのです。慌てて皿から芋を取り出し、根を丁寧に洗いました。洗ったアルコール臭がなくなりました。少しは元気が出てきましたが、未だ病み上がりという状態です。ぐたぐたの原因は？、アルコールかチューハイ内容物か、と考えました。

チューハイは有害だ、身体に害だといえは、簡単明瞭な結論なのですが、そういえません。というのは、昔イギリスに留学していた際に室内で育てていた折鶴蘭に紅茶を与え枯らしてしまっただけ経験があるからです。いずれにしろ、アルコールのような毒が薬かというものは与えない方が無難なようです。

一方、どいつもどいつも薬になるのではないかとどうしようもないものは与えることそれなりの効果が出ます。例えば、生ニンニクを擦って水で薄めて与えると枯れかけた植物は途端に元気になる。しかし、種や芽を出したような苗に与えようと芽が出なかつたり、成長が鈍つたりします。人に例えようと、生ニンニクは枯れかけた老人には非常に効果があるが、成長期の子供には害になる、といえます。

今回の健康訓話、愛情の行き過ぎは子供をためにする、といいたいです。子供にお金をたっぷり与えれば、子供の向上心は萎び、お金がないと生きられない子ができます。子供と大人は与えるもので効果が異なっていくともいえます。